

# 令和4年度 第1四半期地域経済動向調査

(令和4年4月～6月 新温泉町商工会)

以下の調査報告内容の詳細については、各ホームページよりご確認ください。

## ①会員アンケート調査

会員アンケート調査 (新温泉町商工会)

<https://www.sinonsen.com/>

## ②中小企業景況感

中小企業景況調査 (全国商工会連合会)

[http://www.shokokai.or.jp/?page\\_id=6633](http://www.shokokai.or.jp/?page_id=6633)

## ③地域の雇用情勢

地域雇用情勢調査 (豊岡公共職業安定所)

<https://jsite.mhlw.go.jp/hyogo->

[roudoukyoku/jirei\\_toukei/shokugyou\\_shoukai/\\_121984\\_00008.html](https://jsite.mhlw.go.jp/hyogo-roudoukyoku/jirei_toukei/shokugyou_shoukai/_121984_00008.html)

## ④業種別業況判断

但馬の経済指標 (兵庫県但馬県民局)

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk04/keizai/index.html>

# ① 会員アンケート調査

調査依頼 100 企業

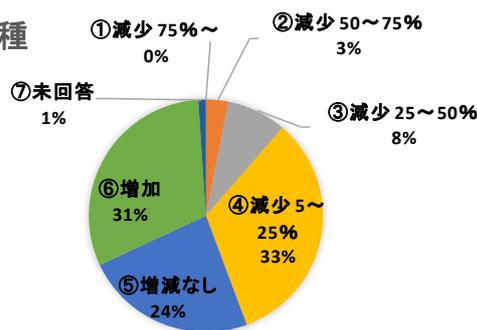
回答 97 企業 (回答率 97.0%)

## 1. 売上状況

(令和3年4月～6月)と(令和4年4月～6月)の比較

全業種		
4～6月	件数	構成比
①減少 75%～	0	0.0%
②減少 50～75%	3	3.1%
③減少 25～50%	8	8.2%
④減少 5～25%	32	33.0%
⑤増減なし	23	23.7%
⑥増加	30	30.9%
⑦未回答	1	1.0%
総計	97	100.0%

### 全業種



建設業		
4～6月	件数	構成比
①減少 75%～	0	0.0%
②減少 50～75%	1	5.9%
③減少 25～50%	2	11.8%
④減少 5～25%	4	23.5%
⑤増減なし	8	47.1%
⑥増加	1	5.9%
⑦未回答	1	5.9%
総計	17	100.0%

製造業		
4～6月	件数	構成比
①減少 75%～	0	0.0%
②減少 50～75%	0	0.0%
③減少 25～50%	2	15.4%
④減少 5～25%	4	30.8%
⑤増減なし	3	23.1%
⑥増加	4	30.8%
⑦未回答	0	0.0%
総計	13	100.0%

卸売業		
4～6月	件数	構成比
①減少 75%～	0	0.0%
②減少 50～75%	0	0.0%
③減少 25～50%	0	0.0%
④減少 5～25%	3	50.0%
⑤増減なし	0	0.0%
⑥増加	3	50.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
4～6月	件数	構成比
①減少 75%～	0	0.0%
②減少 50～75%	0	0.0%
③減少 25～50%	1	4.8%
④減少 5～25%	9	42.9%
⑤増減なし	4	19.0%
⑥増加	7	33.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	21	100.0%

飲食業		
4～6月	件数	構成比
①減少 75%～	0	0.0%
②減少 50～75%	0	0.0%
③減少 25～50%	1	10.0%
④減少 5～25%	3	30.0%
⑤増減なし	2	20.0%
⑥増加	4	40.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

宿泊業		
4～6月	件数	構成比
①減少 75%～	0	0.0%
②減少 50～75%	2	18.2%
③減少 25～50%	1	9.1%
④減少 5～25%	2	18.2%
⑤増減なし	1	9.1%
⑥増加	5	45.5%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

サービス業		
4～6月	件数	構成比
①減少 75%～	0	0.0%
②減少 50～75%	0	0.0%
③減少 25～50%	1	5.6%
④減少 5～25%	7	38.9%
⑤増減なし	4	22.2%
⑥増加	6	33.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

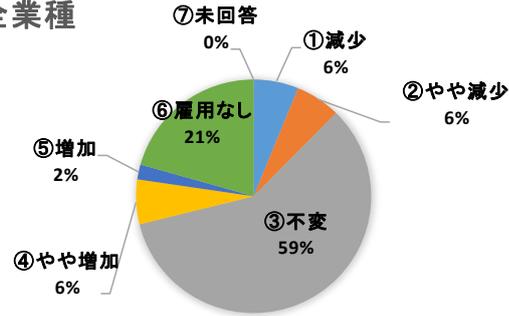
農業		
4～6月	件数	構成比
①減少 75%～	0	0.0%
②減少 50～75%	0	0.0%
③減少 25～50%	0	0.0%
④減少 5～25%	0	0.0%
⑤増減なし	1	100.0%
⑥増加	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

## 2.雇用状況

(令和4年3月31日)と(令和4年6月30日)の比較

全業種		
6月30日	件数	構成比
①減少	6	6.2%
②やや減少	6	6.2%
③不変	57	58.8%
④やや増加	6	6.2%
⑤増加	2	2.1%
⑥雇用なし	20	20.6%
⑦未回答	0	0.0%
総計	97	100.0%

### 全業種



建設業		
6月30日	件数	構成比
①減少	2	11.8%
②やや減少	1	5.9%
③不変	9	52.9%
④やや増加	3	17.6%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	2	11.8%
⑦未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
6月30日	件数	構成比
①減少	1	7.7%
②やや減少	1	7.7%
③不変	8	61.5%
④やや増加	2	15.4%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	1	7.7%
⑦未回答	0	0.0%
総計	13	100.0%

卸売業		
6月30日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	0	0.0%
③不変	6	100.0%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
6月30日	件数	構成比
①減少	1	4.8%
②やや減少	1	4.8%
③不変	12	57.1%
④やや増加	1	4.8%
⑤増加	1	4.8%
⑥雇用なし	5	23.8%
⑦未回答	0	0.0%
総計	21	100.0%

飲食業		
6月30日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	0	0.0%
③不変	6	60.0%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	4	40.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

宿泊業		
6月30日	件数	構成比
①減少	2	18.2%
②やや減少	1	9.1%
③不変	7	63.6%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	1	9.1%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

サービス業		
6月30日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	2	11.1%
③不変	9	50.0%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	7	38.9%
⑦未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

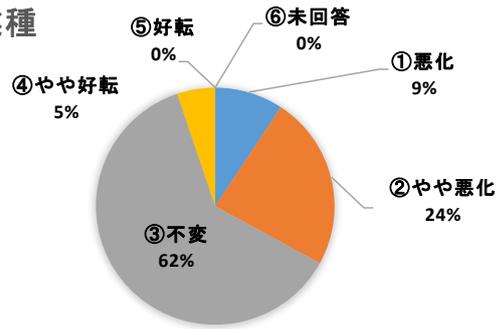
農業		
6月30日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	0	0.0%
③不変	0	0.0%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	1	100.0%
⑥雇用なし	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

### 3.資金繰り状況

(令和4年3月31日)と(令和4年6月30日)の比較

全業種		
6月30日	件数	構成比
①悪化	9	9.3%
②やや悪化	23	23.7%
③不変	60	61.9%
④やや好転	5	5.2%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	97	100.0%

全業種



建設業		
6月30日	件数	構成比
①悪化	2	11.8%
②やや悪化	4	23.5%
③不変	11	64.7%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
6月30日	件数	構成比
①悪化	1	7.7%
②やや悪化	4	30.8%
③不変	7	53.8%
④やや好転	1	7.7%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	13	100.0%

卸売業		
6月30日	件数	構成比
①悪化	1	16.7%
②やや悪化	2	33.3%
③不変	3	50.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
6月30日	件数	構成比
①悪化	1	4.8%
②やや悪化	5	23.8%
③不変	13	61.9%
④やや好転	2	9.5%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	21	100.0%

飲食業		
6月30日	件数	構成比
①悪化	1	10.0%
②やや悪化	1	10.0%
③不変	8	80.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

宿泊業		
6月30日	件数	構成比
①悪化	2	18.2%
②やや悪化	3	27.3%
③不変	6	54.5%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

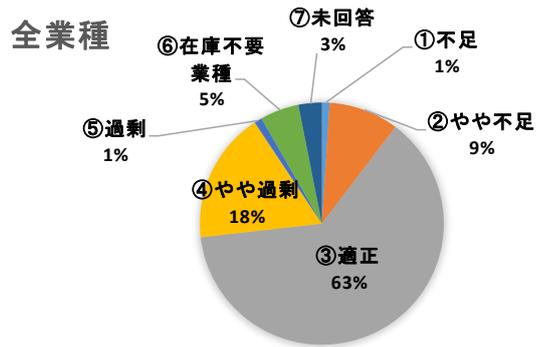
サービス業		
6月30日	件数	構成比
①悪化	1	5.6%
②やや悪化	4	22.2%
③不変	11	61.1%
④やや好転	2	11.1%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

農業		
6月30日	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

#### 4.在庫状況

(令和4年6月30日現在)

全業種		
6月30日	件数	構成比
①不足	1	1.0%
②やや不足	9	9.3%
③適正	61	62.9%
④やや過剰	17	17.5%
⑤過剰	1	1.0%
⑥在庫不要業種	5	5.2%
⑦未回答	3	3.1%
総計	97	100.0%



建設業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	4	23.5%
③適正	13	76.5%
④やや過剰	0	0.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
6月30日	件数	構成比
①不足	1	7.7%
②やや不足	0	0.0%
③適正	8	61.5%
④やや過剰	1	7.7%
⑤過剰	1	7.7%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	2	15.4%
総計	13	100.0%

卸売業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	1	16.7%
③適正	2	33.3%
④やや過剰	3	50.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	4	19.0%
③適正	10	47.6%
④やや過剰	7	33.3%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	21	100.0%

飲食業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	7	70.0%
④やや過剰	2	20.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	1	10.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

宿泊業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	8	72.7%
④やや過剰	1	9.1%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	1	9.1%
⑦未回答	1	9.1%
総計	11	100.0%

サービス業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	13	72.2%
④やや過剰	2	11.1%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	3	16.7%
⑦未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

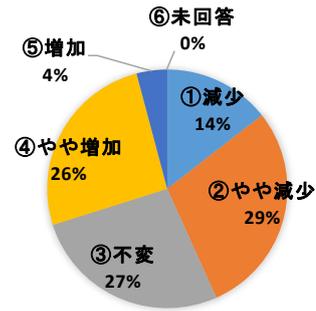
農業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	0	0.0%
④やや過剰	1	100.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

## 5.今後の見通し(売上高)

(令和4年4月～6月)と(令和4年7月～9月)の比較

全業種		
7～9月	件数	構成比
①減少	14	14.4%
②やや減少	28	28.9%
③不変	26	26.8%
④やや増加	25	25.8%
⑤増加	4	4.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	97	100.0%

全業種



建設業		
7～9月	件数	構成比
①減少	1	5.9%
②やや減少	6	35.3%
③不変	8	47.1%
④やや増加	2	11.8%
⑤増加	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
7～9月	件数	構成比
①減少	3	23.1%
②やや減少	2	15.4%
③不変	4	30.8%
④やや増加	3	23.1%
⑤増加	1	7.7%
⑥未回答	0	0.0%
総計	13	100.0%

卸売業		
7～9月	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	3	50.0%
③不変	0	0.0%
④やや増加	2	33.3%
⑤増加	1	16.7%
⑥未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
7～9月	件数	構成比
①減少	2	9.5%
②やや減少	10	47.6%
③不変	3	14.3%
④やや増加	6	28.6%
⑤増加	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	21	100.0%

飲食業		
7～9月	件数	構成比
①減少	4	40.0%
②やや減少	1	10.0%
③不変	2	20.0%
④やや増加	2	20.0%
⑤増加	1	10.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

宿泊業		
7～9月	件数	構成比
①減少	2	18.2%
②やや減少	2	18.2%
③不変	4	36.4%
④やや増加	3	27.3%
⑤増加	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

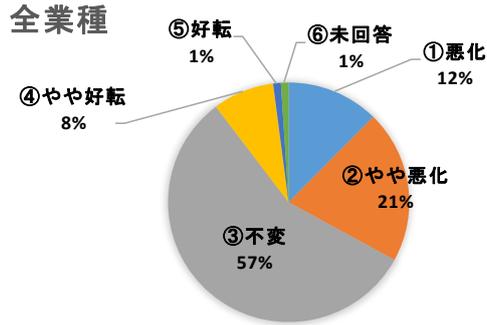
サービス業		
7～9月	件数	構成比
①減少	2	11.1%
②やや減少	4	22.2%
③不変	4	22.2%
④やや増加	7	38.9%
⑤増加	1	5.6%
⑥未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

農業		
7～9月	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

### 6.今後の見通し(資金繰り)

(令和4年4月～6月)と(令和4年7月～9月)の比較

全業種		
7～9月	件数	構成比
①悪化	12	12.4%
②やや悪化	20	20.6%
③不変	55	56.7%
④やや好転	8	8.2%
⑤好転	1	1.0%
⑥未回答	1	1.0%
総計	97	100.0%



建設業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	1	5.9%
②やや悪化	5	29.4%
③不変	11	64.7%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	3	23.1%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	8	61.5%
④やや好転	1	7.7%
⑤好転	1	7.7%
⑥未回答	0	0.0%
総計	13	100.0%

卸売業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	1	16.7%
②やや悪化	2	33.3%
③不変	3	50.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	1	4.8%
②やや悪化	8	38.1%
③不変	10	47.6%
④やや好転	2	9.5%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	21	100.0%

飲食業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	3	30.0%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	7	70.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

宿泊業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	2	18.2%
②やや悪化	1	9.1%
③不変	6	54.5%
④やや好転	1	9.1%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	1	9.1%
総計	11	100.0%

サービス業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	1	5.6%
②やや悪化	4	22.2%
③不変	9	50.0%
④やや好転	4	22.2%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

農業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

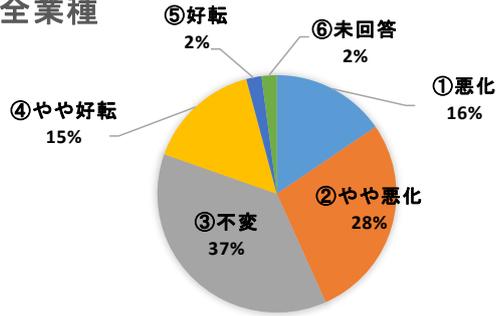
### 7.今後の見通し(業況判断)

(令和4年4月～6月)と(令和4年7月～9月)の比較

全業種

7～9月	件数	構成比
①悪化	15	15.5%
②やや悪化	27	27.8%
③不変	36	37.1%
④やや好転	15	15.5%
⑤好転	2	2.1%
⑥未回答	2	2.1%
総計	97	100.0%

全業種



建設業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	1	5.9%
②やや悪化	5	29.4%
③不変	10	58.8%
④やや好転	1	5.9%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	3	23.1%
②やや悪化	2	15.4%
③不変	5	38.5%
④やや好転	2	15.4%
⑤好転	1	7.7%
⑥未回答	0	0.0%
総計	13	100.0%

卸売業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	1	16.7%
②やや悪化	3	50.0%
③不変	1	16.7%
④やや好転	1	16.7%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	3	14.3%
②やや悪化	10	47.6%
③不変	5	23.8%
④やや好転	3	14.3%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	21	100.0%

飲食業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	4	40.0%
②やや悪化	1	10.0%
③不変	4	40.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	1	10.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

宿泊業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	1	9.1%
②やや悪化	3	27.3%
③不変	4	36.4%
④やや好転	1	9.1%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	2	18.2%
総計	11	100.0%

サービス業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	2	11.1%
②やや悪化	3	16.7%
③不変	6	33.3%
④やや好転	7	38.9%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

農業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

②中小企業景況感 (DI は、増加 (上昇、好転) 企業割合から減少 (低下、悪化) 企業割合を差し引いた値を示します。)  
製造業

景況は改善したが、コスト面の課題が大きくなる製造業

2022年4-6月期の製造業の主要3DIは、売上(加工)額DIはマイナス3.25(前期比12.3ポイント上昇)、採算(経常利益)DIはマイナス25.6(同4.9ポイント上昇)、資金繰りDIはマイナス12.9(同5.9ポイント上昇)といずれも前期から改善した。DIを1年前の同時期と比較すると、売上は7.5ポイント、資金繰りは1.8ポイント上回っているものの、採算は5.3ポイント下回る結果となった。DIの内訳をみると、3DIのいずれも当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答の割合が上昇し(売上6.7ポイント、採算3.4ポイント、資金繰り2.0ポイント)、「減少・低下・悪化」したという回答が低下(売上5.6ポイント、採算1.5ポイント、資金繰り3.9ポイント)した。一方、前年同期の水準から比べると、採算のみ「減少・低下・悪化」したと回答する割合が増加している(2.4ポイント)。

業種別にみたDIも改善する業種が増え、売上額は全17業種中11、採算は8、資金繰りは12の業種で対前期から改善した。主要3DI全てが対前期プラスとなった業種も5業種に上り、そのうち「食料品製造業」「繊維工業」「衣料・その他繊維品製造業」は2桁ポイントの改善を示している。また、DIの改善に伴い水準自体がプラスとなる業種も徐々に増えており、今回、売上高DIの水準は7業種でプラスとなった。一方、輸出関連業種を中心にDIが悪化する業種もあり、特に「精密機械器具製造業」は今回3DI全てが対前期2桁ポイントのマイナス、その結果売上額DIの水準はマイナスに落ち込んだ。

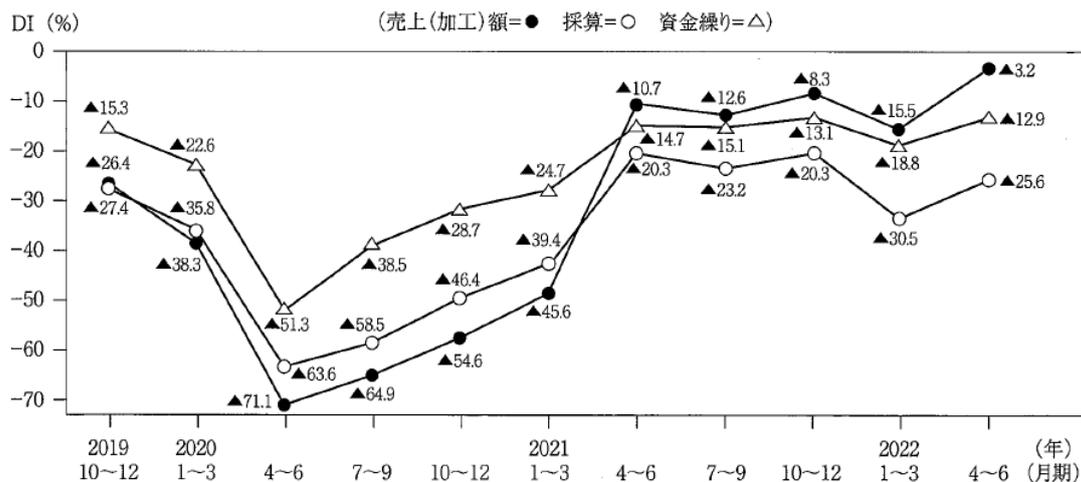
地域別では3DIほとんどが前期と比べて改善した。中でも売上額は「東北」(対前期15.2ポイント)、「中部」(同11.5ポイント)、「近畿」(同17.7ポイント)「中国」(同17.2ポイント)、「九州」(同22.9ポイント)と5地域で2桁ポイントの改善を示し、このうち「中部」「中国」「九州」は水準自体がプラスに回復した。一方、DIがマイナスだったのは「北海道」および「東北」の採算(それぞれ14.5、1.0ポイント低下)のみであった。

人口規模別のDIも全てで対前期プラスとなり、その結果比較的規模の大きい「人口三万人～十万人未満の地区」の売上額DIの水準がわずかであるがプラスに回復した(0.4)。一方、従業員規模別でみたDIは、一番大きい「101人以上」で2桁を超える悪化が見られたものの(売上13.3、採算23.4ポイント低下)、残りはほぼ全ての規模で改善がみられた。その結果、売上額DIの水準は全7区分のうち、5つでプラスに回復している。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題として指摘されるのは3期連続で「原材料価格の上昇」で、その割合は42.3%と対前期9.0ポイントと大きく増加し、4割を超える経営者が一番の問題点として指摘する結果となった。2位は「需要の停滞」だが、前回からは7.7ポイント減少の14.2%で、1位との差は大きく開いている。続く3位は「生産設備の不足・老朽化」8.6%(同0.1ポイント低下)、4位「従業員の確保難」7.1%(同0.8ポイント低下)と前回と同じ項目が続いている。また、順位は7位であるものの「原材料の不足」を指摘する割合も今回は0.8ポイント増加しており、製造業における原材料価格の上昇や調達不足に関する問題が大きくなってきていることがわかる。

1. 主要3項目の動き

(図2-1) 主要景況項目の推移 ー前年同期比ー



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
前期比	12.3				4.9			
前年比	7.5				▲5.3			

# 建設業

## 売上額は改善したものの、コスト増を背景に採算が悪化した建設業

2022年4～6月期の建設業の主要3DIは、完成工事（請負工事）額DIがマイナス19.0（前期比3.6ポイント上昇）、採算（経常利益）DIはマイナス35.9（同2.4ポイント低下）、資金繰りDIはマイナス12.6（同0.3ポイント低下）となった。1年前の水準と比較すると、完成工事は4.2ポイント、採算16.0ポイント、資金繰り9.1ポイントといずれも前年同期を下回り、特に採算の低下が大きいのが目立つ。DIの内訳をみると、当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答の割合は3DI全てで上昇している（完成工事1.7ポイント、採算0.2ポイント、資金繰り1.4ポイント）ものの、「減少・低下・悪化」したという回答が低下したのは完成工事のみ（マイナス1.9ポイント）で、他の2DIは上昇（採算2.6ポイント、資金繰り1.7ポイント）していた。また、今回は改善した完成工事額DIだが、来期の見通しは楽観的ではなく決して明るい状態ではない。

業種別DIをみると多くがプラスに改善しており、中でも売上額DIは全ての業種で上昇した。対前期でマイナスとなったのは「総合工事業」と「職別工事業」の採算（それぞれ2.1、4.4ポイント低下）、「設備工事業」の資金繰り（5.6ポイント低下）のみであった。このうち採算DIは唯一プラスだった「設備工事業」も対前期では0.2ポイントとほぼ横ばいの状態で、結果として建設業全体の採算DIは対前期で2.4ポイント低下する結果となった。

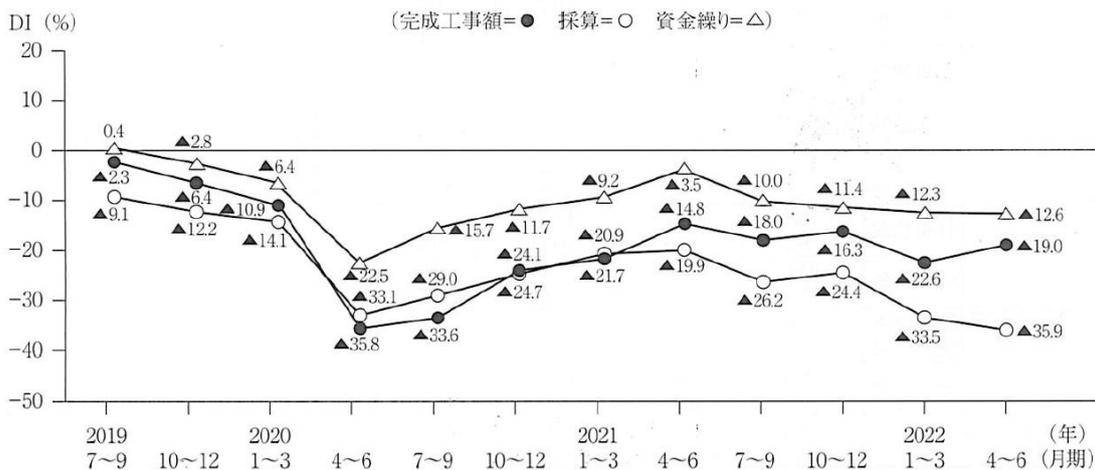
地域別では売上額DIが全8地域中5地域（「東北」1.6、「関東」8.8、「中部」8.4、「近畿」0.8、「中国」15.5ポイント）で改善した一方で、採算が改善したのは1地域のみ（「中国」2.1ポイント）、資金繰りも3地域（「中部」3.8、「中国」1.1、「九州」5.8ポイント）にとどまった。また、「中国」は3DIが全て改善したが、反対に「北海道」「四国」は3DIが悪化しており、地域によって多少のばらつきがみられる。

人口規模別は売上額DIが全区分でプラスに改善したものの、採算と資金繰りは対前期でプラスとなった区分は少ない。ただし一番大きい「人口十万人以上の地区又は含まれる地区」は3DI全てが改善した。従業員規模別においては「11人～20人以下」「21人～50人以下」「51人～100人以下」の比較的大きい3つの区分で3DI全てが改善しており、水準自体も大きい区分の方が高いという傾向を示している。

経営上の問題点の推移をみると、第1位は5期連続で「材料価格の上昇」があげられているが47.63%と対前期で9.0ポイント大幅に増加し、指摘する経営者の割合が5割に迫る勢いになっている。2位は前回同様「従業員の確保難」（12.3%）、3位は「民間需要の停滞」（7.7%）、4位「民間需要の停滞」（6.8%）と続くが、指摘する割合はそれぞれ1.8ポイント、1.1ポイント、3.0ポイント前期より減少しており、1位との差は大きく開く結果となっている。

### 1. 主要3項目の動き

〈図3-1〉 主要景況項目の推移 ー前年同期比ー



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	3.6				▲2.4			
前年比	▲4.2				▲16.0			

## 小売業

### コスト増の問題が徐々に拡大する小売業

2022年4～6月期の小売業の主要3DIは、売上額DIはマイナス20.2（前期比18.6ポイント上昇）、採算DIはマイナス40.0（同9.0ポイント上昇）、資金繰りDIはマイナス24.3（同5.3ポイント低下）といずれも前期から改善し、特に売上額DIは2桁ポイント以上の改善幅となった。水準を1年前と比較すると、売上は7.3ポイント改善しているが、採算は3.2ポイント、資金繰りは0.7ポイント下回って推移している。DIの内訳をみると、3DIのいずれも当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答の割合が上昇し（売上8.4ポイント、採算3.6ポイント、資金繰り1.1ポイント）、「減少・低下・悪化」したという回答が低下（売上10.2ポイント、採算5.4ポイント、資金繰り4.2ポイント）していた。しかし依然として小売業の売上額DIが「悪化」しているという回答は4割を超えており、来期の見通しもさほど変わらない。一方で、来期の売り上げが「好転する」という見通しは2割にも満たず、今後の改善の兆しは決して明るいものではない。

業種別にみたDIは、主要3DIのほとんどが改善し、対前期でマイナスとなったのは、「各種商品小売業」の3DIのみ（売上0.4、採算3.2、資金繰り9.8それぞれ低下）だった。今回はDIのうち特に売上額の改善幅が大きく、「織物・衣類・身の回り品小売業」「飲食料点小売業」「自動車・自転車小売業」「その他小売業」の4業種は2桁ポイントの改善を示し（それぞれ25.5、22.5、17.4、16.3ポイント改善）、全体の改善（18.6ポイント）に大きく寄与した。

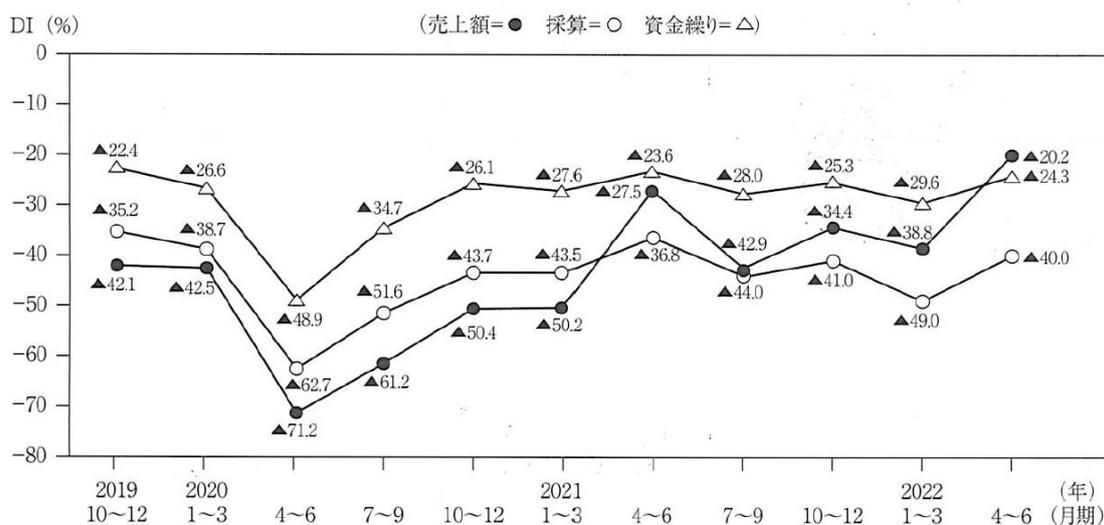
地域別も全ての区分で3DI全てが対前期で改善したが、中でも売上額は「九州」（対前期26.9ポイント上昇）、「四国」（同26.6ポイント）、「近畿」（同21.6ポイント）をはじめとし、全ての地域において2桁ポイントの幅で改善している。

人口規模別は全ての区分で前期よりもDIが上昇したが、規模別の明確な傾向などはみられない。また、従業員規模別では比較的規模の大きい区分のDIが悪化しており、対前期で低下したのは「21人以上」の採算（対前期16.1ポイント低下）、資金繰り（同20.0ポイント低下）、および「11人～20人以下」の資金繰り（同2.2ポイント低下）のみという結果だった。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題として指摘される割合は前回2位だった「仕入単価の上昇」が7.2ポイントと大きく増加して1位になった。指摘される割合は27.0%と3割近い経営者から指摘される結果となっている。前回まで9期連続で1位だった「需要の停滞」は2位に下落したが前回から指摘する割合は4.8ポイント減少し15.4%であった。3位と4位は前回と入れ替わり「購買力の他地域への流出」11.9%（対前期1.0ポイント増加）、「消費者ニーズの変化」11.3%（同0.1ポイント減少）の順になったが、両者を指摘する割合はそれほど大きく変わらない。また、「人件費以外の経費の増加」が前回の11位から9位に上昇しており（0.9ポイント増加の3.0%）、コスト面での問題が引き続き大きくなっていることがわかる。

#### 1. 主要3項目の動き

〈図4-1〉主要景況項目の推移 ー前年同期比ー



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	18.6				9.0			
前年比	7.3				▲3.2			

# サービス業

## 前回に比べ、主要3DIが大きく改善したサービス業

2022年4～6月期のサービス業の主要3DIは、売上（収入）額DIはマイナス6.0（前期比40.0ポイント上昇）、採算（経常利益）DIはマイナス32.2（同17.6ポイント上昇）、資金繰りDIはマイナス15.2（同17.0ポイント上昇）といずれもコロナ禍で大きく悪化した前期と比較するとすべてで2桁ポイントの大幅に改善した。また、1年前の水準と比較すると、売上は9.9ポイント、資金繰りは7.7ポイントと改善しているが、採算だけは2.5ポイント悪化している。DIの内訳をみると、3DIのいずれも当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答の割合が増加し（売上16.9ポイント、採算54ポイント、資金繰り3.9ポイント）、「減少・低下・悪化」という回答が低下（売上23.1ポイント、採算12.2ポイント、資金繰り13.1ポイント）しており、特に悪化の割合が2桁ポイントで減少しているのが特徴的で、このことがDIの改善に寄与していることがわかる。ただし、特に売上額についての来期見通しは厳しく、将来については不透明な状況である。

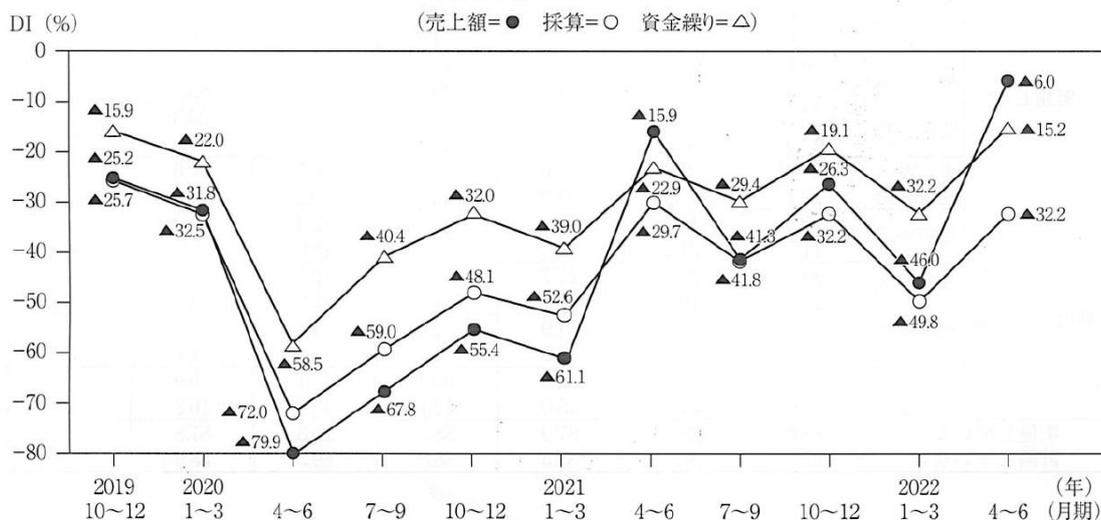
業種別の主要3DIはほとんどの分野で改善した。中でも前回落ち込みの大きかった「飲食店（一般・遊興）」（対前期、売上額64.3、採算25.1、資金繰り25.7ポイントそれぞれ上昇）、「宿泊業」（同、売上額71.0、採算38.8、資金繰り31.2ポイントそれぞれ上昇）の改善が大きい。また、今回は特に売上額DIの改善が顕著で、その結果「飲食店（一般・遊興）」「宿泊業」についてはDIの水準自体がプラスに回復している（それぞれ5.0、29.6）。一方でDIが対前期でマイナスとなったのは「自動車整備業」の採算（3.1ポイント低下）、資金繰り（0.2ポイント低下）の2つのみだった。

地域別も主要3DIは全ての地域で2桁幅の改善をされており、中でも売上額は対前期でプラス33.4～51.4ポイントと大きく上昇し、一番の改善幅を示した「中部」はDIの水準自体も6.1とプラスに回復する結果となった。同様に人口規模別も全ての区分でDIが2桁の幅で上昇しており、売上額DIの水準はマイナス1桁台にまで回復している。従業員規模別でもみた状況も同様だが、やはり売上額DIの改善幅は大きい。また、水準でみた売上額DIは規模が大きいほど高い傾向があることがみてとれるが、「6人～10人以下」「11人～20人以下」「21人以上」の比較的大きい3区分の売上額DI水準はプラスに回復している（それぞれ9.7、20.0、25.5）。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題として指摘される割合が一番多かったのは前回2位だった「材料等仕入単価の上昇」で、指摘される割合は29.3%と前回に比べ13.4ポイントと急激に増加していることがわかる。逆に前回1位だった「需要の停滞」は2位になったが、その割合は前回より10.5ポイントと大きく減少し、割合も18.5%と差がつく結果になった。以降、3位は「利用者ニーズの変化」12.4%（1.3ポイント減少）、4位「店舗施設の狭隘・老朽化」8.1%（1.6ポイント増加）が続く。

### 1. 主要3項目の動き

〈図5-1〉主要景況項目の推移 —前年同期比—

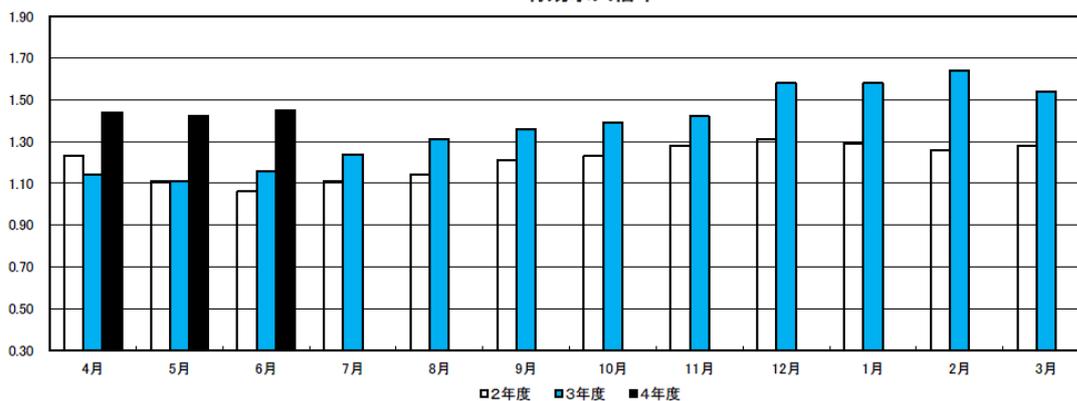


項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	40.0				17.6			
前年比	9.9				▲2.5			

(以上、全国商工会連合会「中小企業景況調査2022年4-6月期」より抜粋)

### ③地域の雇用情勢

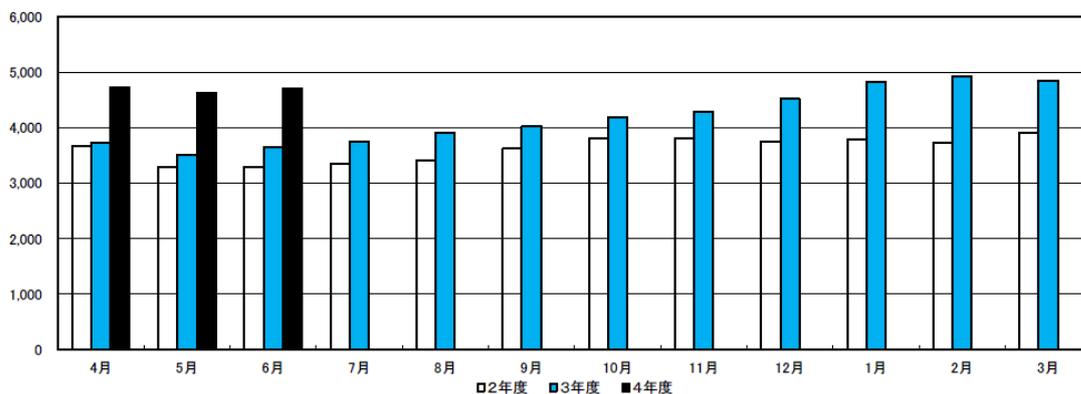
有効求人倍率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	1.23	1.11	1.06	1.11	1.14	1.21	1.23	1.28	1.31	1.29	1.26	1.28	1.21
3年度	1.14	1.11	1.16	1.24	1.31	1.36	1.39	1.42	1.58	1.58	1.64	1.54	1.37
4年度	1.44	1.42	1.45										1.44
対前月 (増減)	-0.10	△0.02	+0.03										—
対前年 (増減)	+0.30	+0.31	+0.29										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

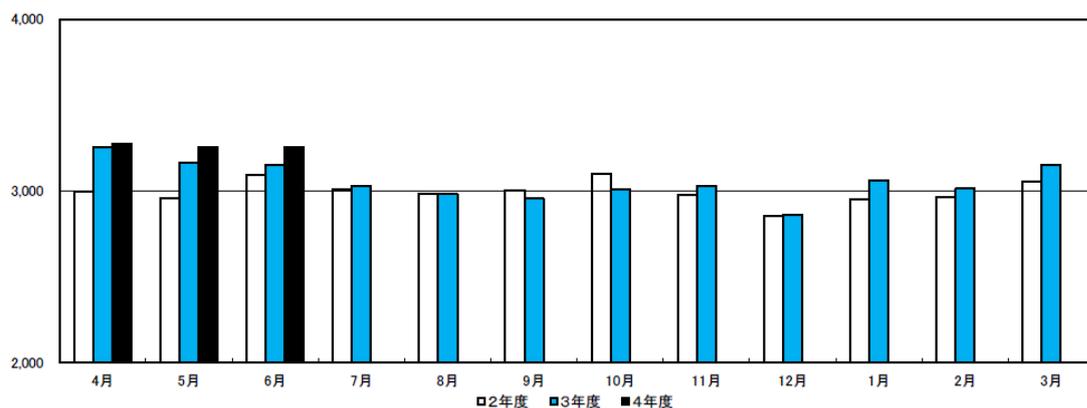
有効求人数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	3,679	3,287	3,292	3,357	3,401	3,626	3,809	3,806	3,753	3,792	3,724	3,909	3,620
3年度	3,722	3,518	3,657	3,741	3,911	4,026	4,195	4,292	4,523	4,825	4,929	4,852	4,183
4年度	4,728	4,634	4,710										4,691
前月比 (%)	△2.56	△1.99	+1.64										—
前年同月 比(%)	+27.03	+31.72	+28.79										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

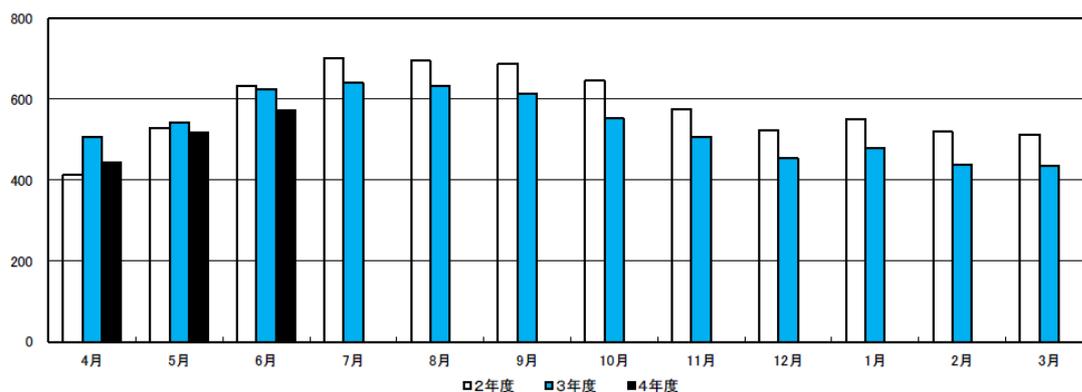
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	2,997	2,957	3,095	3,012	2,984	3,004	3,101	2,975	2,854	2,949	2,964	3,052	2,995
3年度	3,256	3,162	3,154	3,029	2,982	2,954	3,008	3,029	2,857	3,057	3,013	3,151	3,054
4年度	3,277	3,252	3,256										3,262
前月比(%)	+4.00	△0.76	+0.12										—
前年同月比(%)	+0.64	+2.85	+3.23										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	412	529	634	701	695	687	646	576	522	551	519	512	582
3年度	507	542	624	640	634	615	552	508	454	480	437	435	536
4年度	443	517	572										511
前月比(%)	+1.84	+16.70	+10.64										—
前年同月比(%)	△12.62	△4.61	△8.33										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

#### ④業種別業況判断

##### 主要業種の概況

鞆卸売業	景況感は悪い。コロナ禍前と比較して売上は6～7割程である。円安による原材料価格の高騰で打撃を受けた。今後の景況感としては、さほどよくないと予想。まん延防止等重点措置の解除で、国の施策や県の県民割などの積極的利用が期待される。また、国や県には旅行業を支える工業にも対策が行き届くように求める。雇用関係では、当初の計画では新規採用を検討していたが、コロナ禍などの影響から社員数を維持するため、今年度の新規採用は行っていない。
宿泊業	景況感はさほど良くない。4～6月の売上高は前年度比で約50%増加する見通しである。円安で原材料の調達に影響がある。宿泊料を値上げし、利用客の付加価値を高めるためサービスを増やしている。雇用では、パート職員数が過剰で雇用調整を進めている。また、防犯カメラや携帯端末などを生産・管理システムに導入することで、運営の効率化を図っている。湯がき文化の周知やワーケーションなど様々な取組を実施し、交流人口の増加を目指している。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和4年4月)」より

食料品製造業	景況感はさほど良くない。4～6月の売上高は前年度比と変わらない。円安による原材料価格の高騰で生産・製造ラインに影響している。設備投資は検討段階だが、通信販売で用いる設備を更新する予定である。経営展開として、海外販路を視野に秋頃にシンガポールで展示会を開催予定である。雇用関係では、計画通りの新規採用数を確保した。
娯楽業・宿泊業	景況感は良い。前年度は緊急事態宣言が影響したが、今年は制限が無く、個人客を中心に盛況であった。利用客は県民割を利用している方が多い印象である。円安により原材料や光熱費に大きく影響している。設備投資として子会社の旅館を改装し新たな利用促進を図る予定である。雇用の課題としてパート職員が不足している。そのため社員のマルチワーク化を進めている。働き方改革として、業務量の平準化を図る取組を進めている。

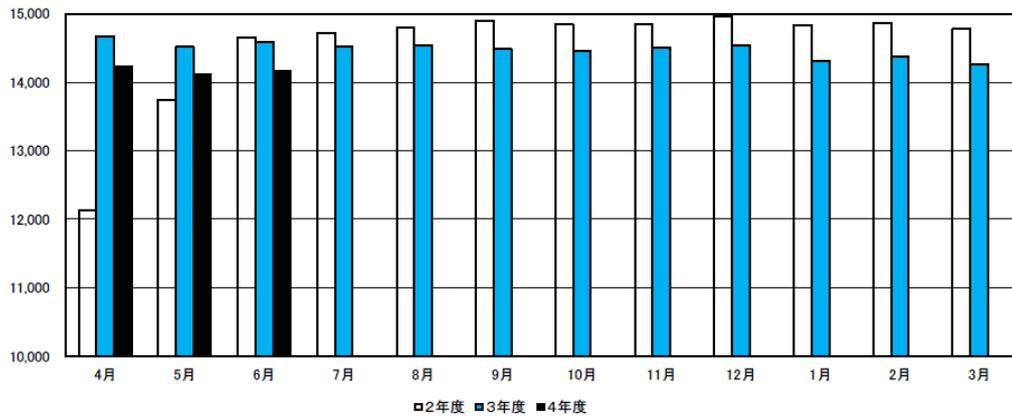
「兵庫県の経済・雇用情勢(令和4年5月)」より

繊維工業	景況感はさほど良くない。4～6月の全体の売上は前年度比で変化はない。コロナ禍による実店舗の営業時間短縮等で売上は落ち込むが、巣ごもり需要によりネット販売は伸びている。3月からスマート工場の拠点として生産ラインの自動化、オフィスの新設を始めており令和5年度末完成予定。従業員の平均年齢は44歳であるが、特に技術職は65歳以上が多いため高齢化が課題。技術の承継という課題はあるがベトナムからの技能実習生も採用し、業務量の平準化と工場全体の人手不足への対応を図る。
電気機械器具製造業	景況感はさほど良くない。4～6月の全体の売上は前年度比で変化はない。新型コロナウイルス感染症の影響で自動車部品関連もFA関連も受注は不安定。そのため、生産見通しを立て難く、受注を見て販売計画を作成している。求人については現在エンジニアなど専門職枠の採用を募集している。健康経営活動として疾病予防とメンタルヘルス対策を実施しており、今年度保健師を正規社員として採用した。個別面談による従業員支援を実施している。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和4年6月)」より

金融

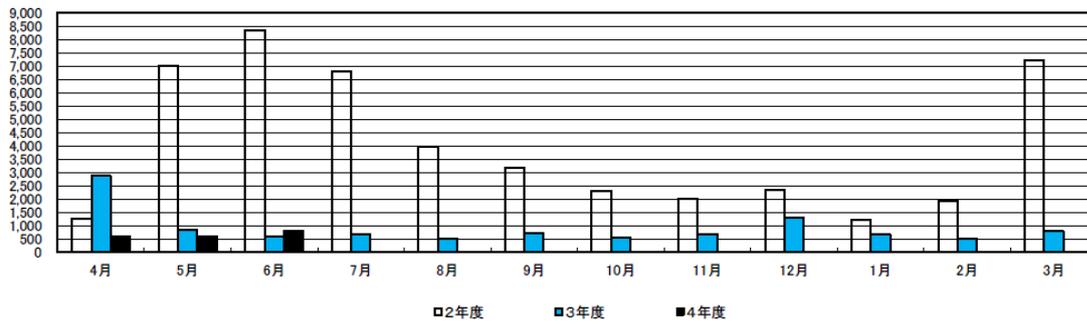
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	12,130	13,749	14,657	14,720	14,793	14,907	14,844	14,845	14,964	14,837	14,875	14,777	14,508
3年度	14,674	14,514	14,589	14,524	14,538	14,487	14,454	14,505	14,538	14,320	14,377	14,259	14,482
4年度	14,232	14,108	14,161										14,167
前月比 (%)	△0.19	△0.87	+0.38										—
前年同月比 (%)	△3.01	△2.80	△2.93										—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

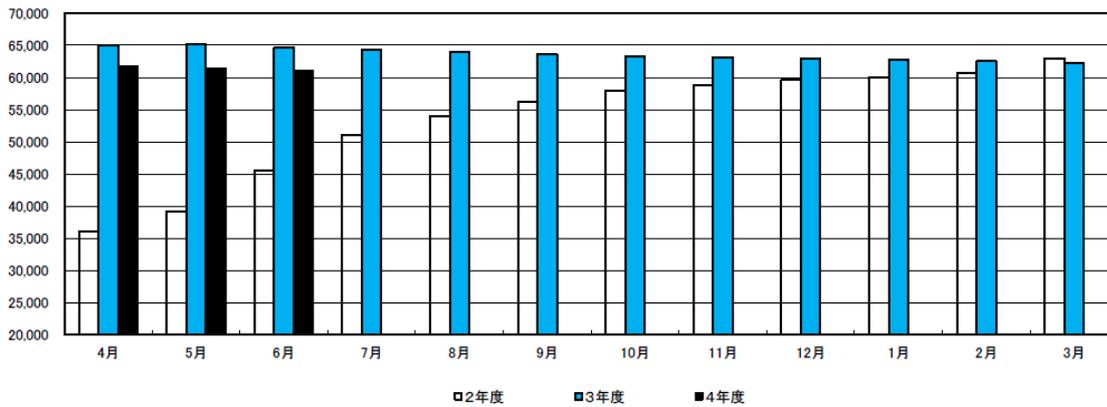
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	1,257	7,020	8,344	6,779	3,971	3,178	2,315	1,999	2,362	1,233	1,929	7,230	3,968
3年度	2,874	862	588	690	533	716	568	686	1,305	664	519	799	900
4年度	609	595	792										665
前月比 (%)	△23.78	△ 2.30	+33.11										—
前年同月比 (%)	△78.81	△30.97	+34.69										—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

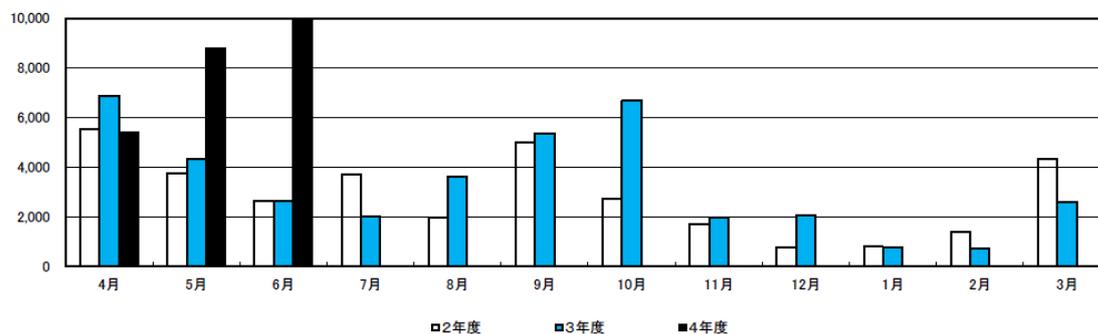


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	36,127	39,209	45,460	51,094	53,953	56,166	57,992	58,818	59,633	60,075	60,667	62,951	53,512
3年度	65,099	65,265	64,599	64,327	63,901	63,574	63,322	63,155	62,982	62,799	62,541	62,216	63,648
4年度	61,778	61,432	61,006										61,405
前月比 (%)	△ 0.70	△0.56	△0.69										—
前年同月比 (%)	△ 5.10	△5.87	△ 5.56										—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

# 公共工事

公共工事請負金額(百万円)

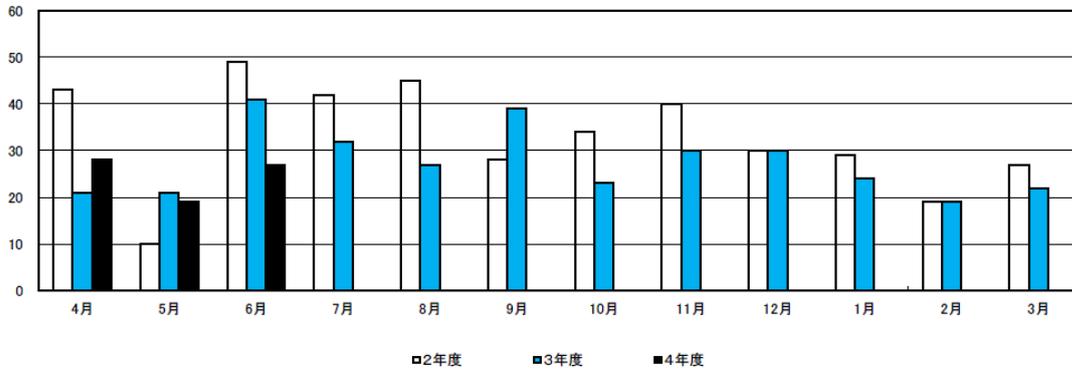


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	5,542	3,771	2,661	3,727	1,957	5,007	2,749	1,724	783	798	1,420	4,350	2,874
3年度	6,887	4,349	2,642	2,008	3,636	5,374	6,683	1,961	2,045	755	739	2,619	3,308
4年度	5,418	8,790	12,602										8,937
前月比 (%)	+106.87	+62.24	+43.37										—
前年同月比 (%)	△21.33	+102.12	+376.99										—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

## 企業倒産

企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2年度	43	10	49	42	45	28	34	40	30	29	19	27	396
3年度	21	21	41	32	27	39	23	30	30	24	19	22	329
4年度	28	19	27										74

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

(以上、兵庫県但馬県民局「但馬の経済指標」より抜粋)